

物語に、息吹きを。



陣屋



新宿から小田急線で約1時間。
鶴巻温泉駅から徒歩4分。
東名厚木インターより車で約20分。
小田原厚木道路平塚インターより
車で約10分。

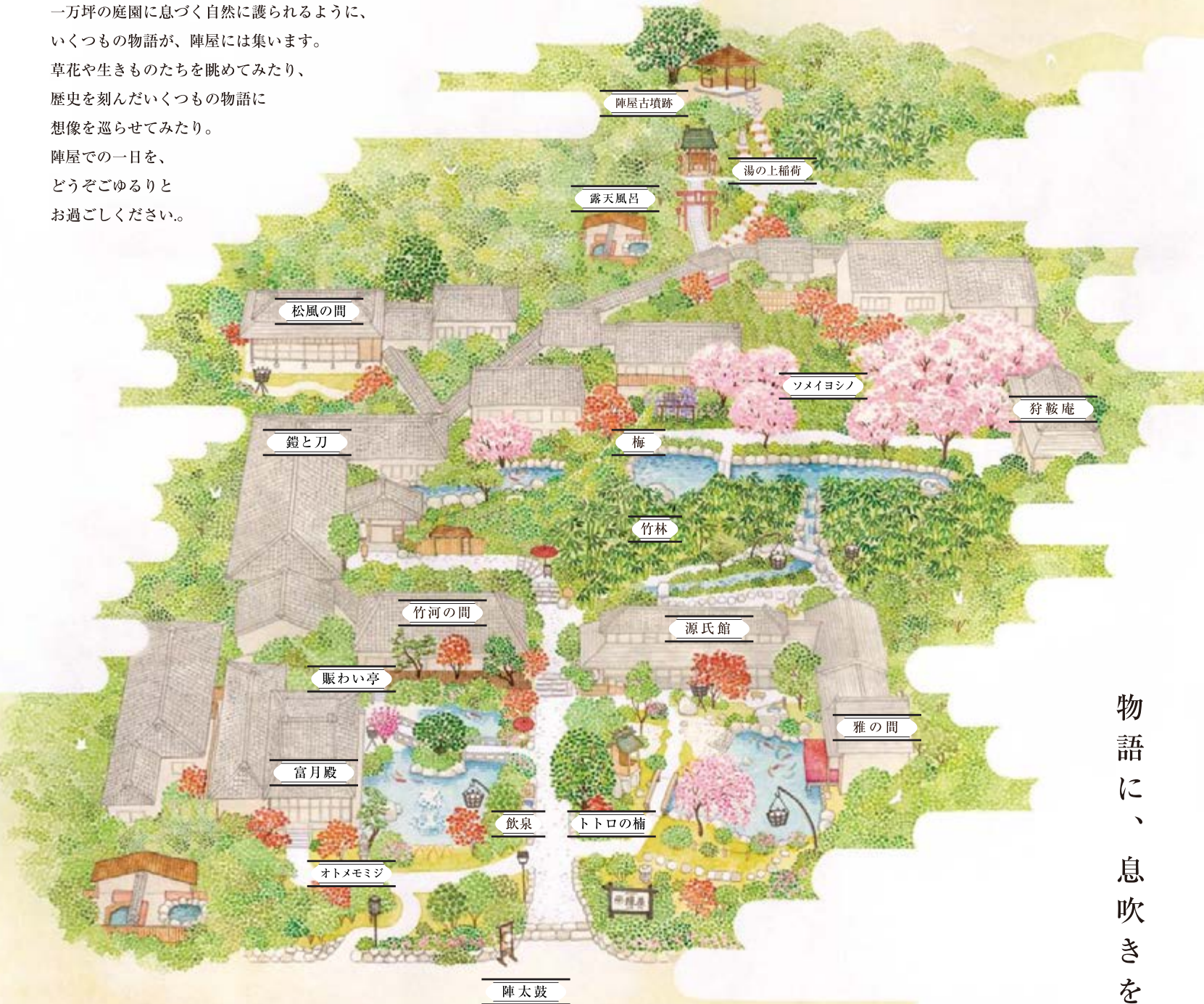
鶴巻温泉は、丹沢の山からのハイキングコースの麓にあたります。
お帰りに当館にてお食事や日帰り温泉もご利用いただけます。
気軽にお立ち寄りください。

鶴巻温泉 元湯 陣屋

Tel 0463-77-1300 Fax 0463-78-2808
E-mail: info@jinya-inn.com
〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北2-8-24
www.jinya-inn.com

桜が咲き、沢蟹がたわむれ、
蛭が舞い、鳥がさえずる。

一万坪の庭園に息づく自然に護られるように、
いくつもの物語が、陣屋には集います。
草花や生きものを眺めてみたり、
歴史を刻んだいくつもの物語に
想像を巡らせてみたり。
陣屋での一日を、
どうぞごゆるりと
お過ごしください。



物語に、息吹きを。



武將の陣地跡 鶴巻温泉 元湯 陣屋

神奈川県秦野市鶴巻は古くから知られる温泉地です。陣屋の始まりは鎌倉時代。弓矢の材料となる良質な竹が多く自生していた事から当時源頼朝の家臣で、弓の名手であった和田義盛公が別邸を建てました。

時代は下って大正時代。旧大名家の黒田藩が大磯に造った天皇をお迎えするための奥座敷が、三井財閥によって鶴巻の地に移築されました。これが、現在の旅館陣屋のはじまりです。

昭和に入ってから、皇族の方々をお迎えしたり将棋や囲碁のタイトル戦の舞台となったりと、脈々と続いてきた百年以上の歴史は、いまも変わる事なく受け継がれています。





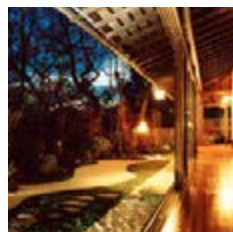
深い緑に包まれた 森のなかの客室

陣屋の一万坪の森の中に点在する二十の客室。それぞれの部屋には、「桐壺」「若紫」など源氏物語に出てくる人物の名がつけられています。

大正期より増改築を重ねて今の姿にいたるため、建てられた年代がすこしずつ違うことも陣屋が長い時間を経て、変遷してきた証です。

春には満開の桜が窓一面に広がったり
秋には目の覚めるような紅葉が見えたり
お部屋によって、景色はそれぞれ異なります。

夜になると深い緑の森に篝火が灯され、
風情ある静寂の時をお過ごし頂けます。



世界有数のカルシウムを含む名湯 鶴巻温泉

丹沢山魂の地下深くから湧き出る鶴巻温泉は明治時代より温泉地として、多くの人々に親しまれてきました。

陣屋は神奈川県内第一号の飲泉許可を取得。源泉口でご自由にお飲みいただけます。

鶴巻の温泉水の特徴は

世界有数のカルシウム含有量。

健康的な肌に欠かせないカルシウムを

皮膚から直接吸収し、引き締めによる

ハリ・美肌にも効果があるとされています。

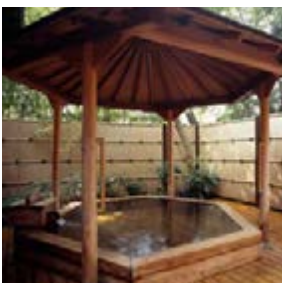
泉質一塩化物質、低張性、冷鉱泉

効能一神経痛、筋肉痛、関節痛、

関節のこわばり、うちみ、冷え性、

病後回復期、疲労回復、健康増進、

慢性婦人病など



江戸中期の趣を今に伝える 源氏館

正面の入口から陣屋に足を踏み入れると
右手奥に見えてくるのが、別邸「源氏館」。
神奈川県藤沢市円行（えんぎょう）にあった
約三百年前の庄屋屋敷を
終戦後に移築した歴史ある建物です。

今では手に入らない長い梁や
大黒柱は当時のまま。
釘を使用しない昔ながらの工法で
木材が組まれています。

和田義盛公の時代から自生する竹林と
大きな池に隣接し、
現在は婚礼や宴会場として
ご好評いただいている会場です。



数々の将棋や囲碁の名勝負の舞台 棋士と陣屋の歴史

陣屋は、昭和に入ると

時代を代表する将棋や囲碁の名棋士たちが

王座を争う場として、知られるようになります。

今迄行われたタイトル戦は三百以上。

平成二十三年の第五十二期王位戦では

羽生善治氏が王位を獲得し、

大山康晴十五世名人の不滅の大記録、

通算八十勝に並ぶ歴史的偉業を

陣屋の松風の間に達成されました。



昭和将棋史に残る「陣屋事件」

将棋や碁の幾多の名勝負の中でも、昭和27年の陣屋事件は今も語り草。木村義雄名人との対局に現れなかった升田幸三八段。いわく、玄関から呼んだが誰も出てこず、憤慨して帰ったとの事。しかし実際は、お迎えの者もおりました。事件の一ヶ月後、升田氏は陣屋を訪れ、色紙（写真上）を預けてお帰りになりました。棋士の葛藤を背景に生まれたこの事件、真相はいまも多くを語られていません。陣屋では、この事件をきっかけに玄関に陣太鼓を設置。太鼓を叩いてお客様をお迎えしています。



陣屋の松風の間に、昭和20年代に行われた九段決定戦での大山康晴名人と升田幸三九段の対局。升田先生の時代から大山先生へと移っていく、将棋の歴史の一ページ。



陣屋でタイトル戦を戦った、時代を代表する名棋士たちの芳名帳。昭和初期に活躍した木村義雄名人をはじめ、大山康晴十五世名人、升田幸三九段、中原誠十六世名人、谷川浩司永世名人、羽生善治永世名人など、堂々たる顔ぶれが名を連ねる非常に貴重な陣屋の記録。



四季折々の食材で物語を紡ぐ 陣屋の料理

日本料理は「だし」にあり。

総料理長のこだわりから生み出される味覚。

それは厳選された鰹節、昆布からひいた「一番だし」と

庭園内竹林で実る山の幸やご当地自慢の新鮮な魚介の食材。

陣屋の四季の彩りをふんだんに取り入れて、

大胆さと繊細さを織り交ぜ仕立てられる品々をお楽しみください。

緑に囲まれた食事処「賑わい亭」のほか

プライベート感を大切にしたい会食では客室や宴会場をご案内いたします。



総料理長 藤本 厚

都内料亭で30年の修行と料理長経験後、2014年より陣屋の総料理長に就任。

素材を厳選し、伝統を踏まえながらも新たな感性を取り入れた料理を追究しています。

内々のお祝いからご接待まで 宴会

一万坪の庭園内に点在する、大小六つの宴会場。
大池が一望出来る百畳あまりの大宴会場や

小規模の会食にビジネス会議、

内々のお祝い事に向けた小宴会場など

用途に合わせた会場をご用意致します。

陣屋伝統の餅つきや、

会話と本格的な日本料理を気軽に楽しめる

立食パーティプランもご対応可能です。

二次会に最適な

ハイビジョンのカラオケ個室もございます。





鴨居に掘られた繊細な菊の透かし。



明治時代の一枚ガラスを今も大切に保存しています。横から見ると、手透きガラスならではの波打ち（凹凸）をご覧ください。



明治天皇謁見の間 「松風」

明治天皇をお迎えするために、旧大名家の黒田藩が威信をかけてつくったお部屋「松風の間」。

天皇がお座りになった玉座の間には

明治から昭和にかけて活躍した日本画壇の巨匠、川合玉堂の晩年の屏風が置かれ

「月」に見立てた灯りや「雲」に見立てた欄間の透かしなど明治時代のモダンなデザインが施されています。

今日、松風の間は貴賓室としてご宿泊頂けるほか、ご両家の初顔合わせや結納、ご婚礼、ご接待の席に使われています。



細部にまでこだわった松風をの襖の引き手。五枚と三枚の桐の葉をモチーフにした「五三の桐」(写真中)。

長い歴史を物語る 陣屋の美術品

百年以上に及ぶ、陣屋の歴史。代々の当主が少しずつ収集してきた古美術品を館内に展示しています。毛利元就や宮本武蔵にゆかりのある武器をはじめ、武田家伝来の鎖帷子や、上杉謙信の十字の槍など、鎌倉時代や戦国時代の貴重な品々を現代に伝えていきます。滞在の合間に是非、ご覧になってみてはいかがでしょうか。



かねくろうるしぬりあいかわすがけおとしもがみどうぐそく
鉄黒漆塗藍鍛和韋素懸威最上胴具足／渡辺作佐衛門所持（江戸時代）
代々毛利家に仕えた渡辺家が、主君から賜ったものと伝えられている。



宮本武蔵ゆかりの刀
源永國作（江戸時代前期）

宮本武蔵に縁深い九州の細川家上士として仕えた、寺尾家伝来の刀。脇差の銘文には「新免武蔵之介帶之」と刻まれており、武蔵ゆかりの刀であることを示している。源永國は17世紀半ばに活躍した肥後の刀工。



深い緑に囲まれた日本庭園で 婚礼

一万坪の庭園内にある神殿「雅の間」
水上の披露宴会場「富月殿」
三百年前の建物を改築した「源氏館」：
晴れの祝いの日にふさわしい
格式ある披露宴会場と庭園で
お客様をおもてなしいたします。
歴史ある建物と、緑に包まれた結婚式は
凛としますが美しく、
幅広い年代のお客様、海外からのゲストにも
ご好評をいただいています。

物語を紡ぐこだわりの品々をご自宅へ 陣屋の仕出し

ご家族のお祝い事をはじめ、新年の御節や大切なお客様のおもてなしに。職場やサークル等のお集まりやパーティーに。陣屋の料理でおもてなしいかがでしよう。

総料理長が日本の旬の美味しさと美しさを繊細に盛り込んだ厳選料理をご自宅や会場へお届けいたします。



贈答用鳴鍋セット



仕出し用会席仕立て膳



贈答用やまと豚桜味噌漬



会議・ハイキング用弁当



桜 (ソメイヨシノ)

陣屋の庭園には多くの桜が植樹されており、花見の名所として地元から長く愛されてきました。3月下旬～4月上旬にかけて、包み込むように咲く満開の桜で、陣屋の庭には桃色のアーチが出来上がります。窓の目の前に桜の咲く部屋は、毎年予約が数ヶ月前から入るほどです。

トトロの楠 (くすのき)

映画監督の宮崎駿氏は、幼少時代、陣屋で過ごしていた事がありました。映画には、ここ陣屋で遊んでいた思い出もモチーフになっているそうです。入口を抜けて右手にある「トトロの木」と呼ばれる大きな楠の木を見上げれば、物語に入り込んだような気分が味わえるかもしれません。



沢蟹

沢蟹は、陣屋の自然に宿る小さな生き物のひとつ。きれいな沢にしかすむ事が出来ず、水質の指標生物なっています。日中は石の下に隠れている事が多いですが、雨の日や、餌を食べているときなどには姿を見かけることができるかもしれません。



紅葉

陣屋のみどころのひとつに、秋の庭を美しく彩る紅葉があります。冬の訪れも予感させる、しっとりとした秋の庭園を散策して、物思いにふけるのもいいかもしれません。日常を離れ、ゆっくり流れる陣屋時間を満喫してみたいいかがでしょうか。



蛍

5月下旬～6月にかけて、庭園内にある小川のほとりには、蛍が飛び交います。その淡くほのかな光と同じように、蛍を見る事が出来る期間もとても短いものです。昔から陣屋に生息し、毎年大切に育てている蛍の子孫たち。見かけたら、そっと見守ってあげてください。

